

個々の問題の出題の意図及びその正答率

社会 中学校 第1学年

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			正答率
	大問	小問	通番		思考・判断	資料活用・表現	知識・理解	
地理的分野	①	1	1	地球上の位置関係を表すために使われる緯度や経度について、平面である地図上だけでなく、地球の断面図上や地球儀などを活用してとらえることができる。		○		46.8
		2	2	15度で1時間の時差ができる基本的な仕組みを活用し、明石市とバグダッドの時差を計算し求めることができる。	○			51.9
		3	3	日本の位置と領域について、我が国の領土がたくさん島の島々で成り立っていることや、これらの島々によって、領海や経済水域があることを地図を活用して説明することができる。	○			69.3
	②	1	4	岐阜県の農業について、表をもとに中部地方に属する他県との比較を行い、その特色を正しく読み取ることができる。		○		70.3
		2	5	統計資料を読み取り、区分にしたがって地図に正しく示すことができる。		○		63.5
	③	1	6	地形図から得られる基本的な情報や、縮尺や水準点などの言葉の意味を正しく理解している。			○	23.9
		2	7	八方位を用いて、ある地点から見た別の地点の方位を正しく理解している。			○	72.1
		3	8	5万分の1の地形図上での等高線のきまりを用いて、ある地点の高さを等高線を用いて求めることができる。		○		46.8
		4	9	縮尺の意味を理解し、地形図上のある地点からある地点までの直線距離から実際の距離を地形図のスケールや定規などを用いて求めることができる。		○		72.4
	④	1	10	与えられた情報を手がかりにして、実際に略地図に書き表すことができる。		○		48.7
歴史的分野	⑤	1	11	年表を読み取る基本事項として、時代区分について正しく理解している。			○	69.1
		2	12	各時代の主な出来事や資料から、時代の特色をつかみ、時代の流れを考えることができる。	○			55.0
		3	13	「世紀」について、正しく理解している。			○	45.8
		4	14	室町時代の特色を主な出来事や資料から読み取り、時代に関わった人々の生活の様子を考えることができる。	○			56.1
		5	15	日本の政治の中心地として、平安京がつくられ、室町幕府が開かれた京都府について、地図上でその位置を正しく理解している。			○	49.5
		6	16	時代を代表する道具や出土品などの中から、奈良時代のものについて正しく理解している。			○	80.6
		7	17	時代の特色を示すことがらや代表的な資料（永仁の徳政令）について、その内容を考えることができる。	○			54.1
	⑥	1	18	各時代の様子を示す文化財と、それぞれの文化の特色を正しく理解している。			○	67.2
		2	19	国風文化にかかわって、その文化の特色や代表的な文化財について正しく理解している。			○	63.2
	⑦	1	20	日明貿易の様子について、二つの資料から問題点と解決策を読み取り、二つの資料をかかわらせながら、適切に説明することができる。	○			54.2